

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

3

2025 MAR.

第 262 号

学校長からのメッセージ

◆先日、白内障の手術を受けました。術後、医師から具合を訊ねられた私は「ハイ、よく見えます」と答えました。医師は「そうではなく、大切なのは『あなたが幸せになったかどうか』です」と言われました。この言葉に私はハッとして、胸がいっぱいになりました。私は先天的に強度近視でした。小学校の視力検査は体育館でみんなが見ている場で行われ、0.1 も見えなかった私に、同級生たちがびっくりして、ざわついた悲しい思いをしたことがありました。

◆この度手術をしたことで、思いもよらずその近視が治ったのです！およそ半世紀の後にやってきたこのような現実はまだ実感はありません。看護師から「先生は患者さんが幸せになると、周りの人たちも幸せになると考えています」と聞きました。『あなたが幸せになったかどうか』が大切…その医師の考えに、私たちの学校と全く同じものを感じ、看護師さんに「私もそう思う！」と強く言ってしまいました。

「生徒が幸せになれば、その家族も幸せになる、1人が幸せになると世界が変わる」は、私たち YMCA のブランドコンセプトです。生徒たちが卒業した後も幸せな豊かな人生を送ることをいつも願っています。その“幸せ”のために、どんな力が必要なのかを考えたとき、「壁にぶち当たった時に自分で解決策を考え、前に進む力を持つ」ことが大切だと思います。もちろん、対応しきれず心が折れてしまうこともあるでしょう。でも、そんな時は人に相談する術を知り、もがきながらも再び立ち上がる力を持つ。それこそが“幸せにつながる力”でしょう。

◆今月、関連校合わせて 200 人を超える生徒が卒業します。

おめでとう！ 皆さんは高校生活で多くの経験を積んできました。ですから、これから先、困難があっても大丈夫。その時は一人で悩まず、誰かに相談してみてください（本校でもいいですよ）。YMCA で学んだあなたには前に進む力があります。自信を持って歩んでください。そして皆さんはこれからも“YMCA ファミリーの一員”であることを誇りに思ってください。ずっと仲間です。教職員スタッフみんながずっと応援しています。

（校長 鍛冶田千文）

「アブラムは、主の言葉に従って旅立った」創世記 12 章 4 節





今月の聖句

「しかし、わたしはあなたのために、信仰が
無くならないように祈った。」

(ルカによる福音書 22 章 32 節)

この言葉は、イエスが弟子であるペトロに対して言われた言葉です。この言葉を言われたあと、イエスは反対者たちによって逮捕され、そして十字架にかけられていくことになります。そんな切羽詰まった状況だったのですが、そのような出来事がまもなく起こるということにペトロはまだ気付いていません。ですから、彼はイエスに「何があってもあなたに従っていきます！」と自信満々に語るのです。でも、実際にイエスが逮捕された時、ペトロは怖くなって、「私はあの人の弟子なんかじゃない！イエスのことなんて知らない！」と言ってしまふのです。そんなペトロの弱さを受け入れたうえで、イエスはこの言葉を前もってペトロに語ってくださっていたのです。「あなたが私のことを否定したとしても、私はあなたのことを思って祈っている。」というイエスの愛が込められた言葉なのです。

イエスのことなんて知らないと言ってしまったペトロは当然大きな挫折をします。でも、その彼をもう一度立ち直らせてくれたのは、他でもない、イエスの祈りだったのです。そして、その祈りはペトロだけでなく、私たちのためにもイエスによって捧げられています。「あなたのためにいつも祈っていますよ」とイエスは語り掛けてくださっています。

(日本基督教団河内長野みぎわ教会 福島義也牧師)

